

平成19年度第11回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議
議事録

日時：平成20年2月12日(火)午後2時30分～午後4時

場所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出席：学長 米澤和彦
副学長 古賀実
事務局長 角田岩男
文学部長 三木悦三
環境共生学部長 大和田紘一
総合管理学部長 松野了二
学術情報センター長 松岡泰
委員 河原畑廣
委員 源島真一郎
欠席：委員 坂本元子

オブザーバー：半藤文学研究科長、永尾アドミニストレーション研究科長

事務局：豊田事務局次長、手島総務課長、稲葉企画調整室長、井上教務入試課長、鉄戸学生支援課長、
田中学術情報センター事務長、安達入試班長、枝國主幹、元島主幹、林参事

1 開会(進行：豊田事務局次長)

2 学長挨拶

3 議事(議長：米澤学長)

(1) 審議事項

もっこすプラン2008について

- ・ 重点実施事項
- ・ 平成20年度年度計画

事務局から、もっこすプラン2008について、資料1に基づき、策定にあたっての考え方、策定体制・スケジュール、平成20年度重点実施事項案及びその具体的取組例について説明があった。

審議の結果、次回以降の教育研究会議への継続審議となった。

教員人事について

- ・ 昇格人事について

米澤学長から、昇格人事について、資料2-1及び別紙1に基づき、各学部からの推薦に基づき、提案があった。

また、古賀副学長から、「1月16日に開催された全学資格審査委員会において、学長から提案があった6名の昇格について審査を行い、委員会で審査した結果、適当であるとの結論に至った。」との報告があった。

審議の結果、昇格人事について、案のとおり議決した。

- ・ 学科長・コース長の選考について

米澤学長から、学科長・コース長の選考について、資料2-1及び別紙2に基づき、「文学部日本語日本文学科長として山崎健司教授、文学部英語英米文学科長として吉井誠准教授、環境共生学部環境資源学科長として松添直隆教授、環境共生学部居住環境学科長として北原昭男教授、環境共生学部食健康科学科長として福岡義之教授、総合管理学部パブリック・アドミニストレーションコース長として渡邊榮文教授、総合管理学部ビジネス・アドミニストレーションコース長として黄在南教授、総合管理学部情報管理コース長として津曲隆教授、総合管理学

部地域・福祉ネットワークコース長として永尾孝雄教授を提案したい。選考にあたっては、各学部長、各研究科長と相談を行い、複数推薦いただいた場合は、学科（コース）内での管理運営能力、あるいは可能性、期待度、できるだけ若い先生という基準で選考した。」との説明があった。

審議の結果、学科長・コース長の選考について、案のとおり議決した。

平成20年度非常勤講師の採用について

事務局から、平成20年度非常勤講師の採用について、資料3に基づき、「平成20年度は358科目について、212人の非常勤講師採用を予定している。そのうち、341科目、198人については、1月21日に開催された第10回教育研究会議で採用の承認をいただいた。その後、各学部から推薦があった5科目、4人について審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、平成20年度非常勤講師の採用について、案のとおり議決した。

(2) 報告事項

平成20年度入学者選抜の出願状況について

- ・ 私費外国人留学生特別選抜分
- ・ 大学院春季募集分
- ・ 一般選抜分

事務局から、平成20年度入学者選抜の出願状況について、資料4に基づき、「私費外国人留学生特別選抜については、8名の出願があった。大学院春季募集については、49名の出願があった。大学院については、文学研究科英語英米文学専攻を除き、定員を充足する見込みである。一般選抜については、全体で志願者数は1447人で、昨年度と比較し、407人の減、志願倍率は5.2倍から4.1倍となった。」との報告があった。

大学院文学研究科博士後期課程開設記念シンポジウム開催について

「熊本県立大学大学院文学研究科 学術奨励賞（仮称）」の実施について

（ 、 を合わせて報告）

半藤文学研究科長から、「3月1日に『日本語日本文学研究の未来』と題して文学研究科日本語日本文学専攻の博士課程開設記念シンポジウムを開催する。また、その時、博士課程開設を記念して、優秀論文を広く募る学術奨励賞の実施を発表したい。優秀な学生確保のため、受賞者については、5年間、博士前期課程の筆記試験を免除することとしたい。」との報告があった。

4 閉会